

請願人

紹介議員 菅原 達

ふるさと納税を活用した猫との共生に関する請願

1 請願の要旨

不法な遺棄や逸走による野良猫の歯止めの効かない繁殖や飼い主が抱える諸事情により繁殖制限が行われず、適正な飼養が困難になることにより、周辺的生活環境の悪化や罪のない猫たちが殺処分になることを防ぐために、「ふるさと納税」を活用して不妊手術や医療のための費用を確保し、猫との共生を目指していただきたく請願するものです。

2 請願の理由

飼い主不在の野良猫問題を解決し、人と猫が共生していくためには、過剰な繁殖を抑制するTNR（トラップ・ニューター・リターン＝捕獲・不妊手術・元に戻す）が最も効果的であることから、平成31年に佐野市の飼い主不在の野良猫問題における「どうぶつ基金さくらねこ」導入の必要性に関する陳情を提出し、採択していただきました。

しかし、費用負担などの問題から、佐野市内に協力していただける動物病院が見つからず、また、同じ年に台風被害に見舞われたこともあり、現在も導入が見送られている状況であります。

不妊手術には相当の費用負担を伴うことから、「人と猫との共生」を用途とした「ふるさと納税」を設定し、猫の不妊手術や医療のための費用に活用していただくことを請願するものであります。

これにより、猫の過剰な繁殖を抑制し、生活環境の保全と猫の殺処分の減少に繋がり、人と猫が共生できるまちに一步近づくとともに、全国の猫を愛する方などからの新たな「ふるさと納税」の獲得にも寄与するものと考えます。

人と猫との共生を目指し、人口が減少している栃木県の中であって、

人口が増加し続ける魅力ある佐野市へと発展していくことを切に願い
 お願いさせていただきます。